

## 会 議 録

会議名	平成20年度 第5回 丸亀市行政評価委員会
開催日時	平成20年8月22日(金) 午前10:00～午前12:00
開催場所	丸亀市役所 本館5階第2会議室
出席者	<p>(出席委員)</p> <p style="text-align: center;">岡 千枝      柴田 潤子      田中 豊      三宅 耕三</p> <p style="text-align: center;">石原 茂      河田 博之      長尾 正美</p> <p>(欠席委員)</p> <p style="text-align: center;">溝渕 由美子</p> <p>(説明のために出席した者)</p> <p style="text-align: center;">企画財政部長    直江 安俊      企画課長      大喜多 章親</p> <p style="text-align: center;">企画課行政改革推進室長    矢野 律      企画課担当長      小山 隆史</p> <p style="text-align: center;">企画課主任      勝田 知子</p>
議 題	<p>1. 施策・事務事業に関する意見・提言等について</p> <p>2. 報告書案について</p> <p>3. その他</p>
傍聴者	なし
発言者	議事の概要及び発言の要旨
議事の進行及び発言の要旨	田中委員長あいさつ 皆さん、おはようございます。本日の議題は、次第のとおり「施策・事務事業に関する意見・提言等について」、「報告書案について」、「その他」となっておりますが、まず、「議題1 施策・事務事業に関する意見・提言等について」事務局より説明をお願いします。
企画課担当長	《「報告書(案)」と「第4回委員会資料抜粋」に基づき説明》
委員長	別添2ページ「収集業務の民間委託について」に関して何か意見はありますか。
石原委員	抽象的な表現で具体性に欠けているので、もっと内容を盛り込むべきではないですか。
委員長	例えば、どういう所にどういう文言を入れたらいいですか。
石原委員	全面委託とは、車、人、それともすべての委託なのか、また緊急時とはどのような場合を示すのか具体的に記載したほうがよいのではないのでしょうか。

委員長	委託の範囲は車も人も含めた業務全体だと思っていますが、緊急時の表現が少し抽象的ですかね。
三宅委員	民間委託した場合、市民と業者のトラブル発生は十分考えられますが、「市が責任を持って管理する」にこのような内容まで入っていますか。
委員長	「委託の実施状況や市民と受託業者のトラブル発生時においては市が責任を持って管理するとともに、災害時の対応はあらかじめ十分に検討する。」にしましょうか。
三宅委員	「災害等の緊急時」でいいのではないですか。
石原委員	収集時のトラブルは、市で窓口を作り苦情、要望を受け業者に指導していただきたいです。緊急、災害の程度は判断しにくいのですが、台風、洪水、火災、山崩れ等ともう少し具体的に表現できないでしょうか。
柴田委員	具体的に記述するよりこの程度の表現でとどめておくほうがケースバイケースで柔軟な対応ができると思います。
委員長	そうしましたら、前半部分を「市が責任を持って管理する」の前に苦情窓口やトラブル発生時の対応に関する内容を入れ、後半部分は「災害等の緊急時の対応」とし、ケースバイケースで市にやっていただくことにしましょう。
河田委員	前回、事務局は直営を一部残すと言われていましたが、それは「市が責任を持って管理する」ということですか。
企画財政部長	例えばし尿収集業務に関して言えば、下水道整備で業務が縮小しており、法律上合理化する場合、失業対策が必要となります。民営化した場合、法律が適用され市に多大な出費を強いられることもあり直営を一部残したいと考えます。また災害等の緊急時対応を考えると直営で人、車を残しておきたいという考えもあり、市としては全面委託より一部委託という考えです。ただ、ここでは委員の皆様の意見を書かれたらよいと思います。
河田委員	阪神淡路大震災の時、トイレや水、大量のゴミなどの対応に困ったようです。直営を一部残したほうがよいと思うので、このことを文章に加えてほしいです。
委員長	細部は行政当局の判断にまかせ、大部分は全面委託の方向でいきたいです。全面という表現がふさわしくないのかもしれませんが、「基本的に民間委託」としましょうか。

河田委員	大規模災害を考えると一部直営は残すべきです。「市が責任を持って管理する」にそれが置き換えられるのかどうか。
委員長	多くの市町では直営を持たず、何かあった時の対応は別途考えるというやり方をしています。例えば、災害時の対応などでも役所が普段から自前ですべての食料を貯えていないけれどスーパーなどと契約し、緊急時は確保できるようにしたりといったのと同様です。災害時のごみやがれきもトラックを借りて収集に当たったりします。いずれにしても実際の災害時には直営の車や人だけでは対応しきれないし十分ではありません。
柴田委員	言葉の使い方として「全面委託」は直営をはずすという意味ではないと思います。
石原委員	基本的には全面委託とし、直営は時代のニーズに合わせて縮小すればよいので、ここでいつまでにどの程度と結論付ける必要はないと思います。
河田委員	「市が責任を持って管理する」に今まで言ったことが含まれるのならこの文章でいいと思います。
委員長	「全面委託」を「民間委託」に、「考えるべき」を「検討すべき」にしたらいいですかね。
岡委員	災害時の規定などはありますか。規定がないと市も市民も動きづらいと思います。民間に移行していく上で何らかの規定は必要で、そのあたりを盛り込んだらどうでしょうか。
委員長	契約時に災害時の対応を盛り込むこと、それ以外は融通を利かせて対応することこの二つだと思います。
企画財政部長	災害時の対処に関する計画等についてはまずは国が策定し、次に都道府県が策定し、次に市町が策定します。丸亀市でも策定されており、細かい部分までは記載されていませんが、医療機関や建設業者などとの協力体制等について定められています。
柴田委員	直営を残すという意味を盛り込んだ書き方として、「緊急時、災害時の対応に配慮して委託のあり方についてはあらかじめ十分に検討しておくべきである。」とすればよいと思います。
委員長	今、柴田委員からいただいた意見の方向で文章をあらためて修正し、提示したい

	<p>と思います。</p>
河田委員	<p>今のような内容で文章は事務局が考えてくれたらいいですが、先ほどトラック業界と災害時の契約をしているという話がありましたが、大規模災害時には機能しないと思います。そのあたりをもっと十分に考えてほしいです。</p>
長尾委員	<p>前回の意見から「循環型社会の意識醸成」という言葉が削除されていますが、この言葉は残してほしいです。</p>
委員長	<p>どのあたりに入れますか。</p>
長尾委員	<p>(施策を進める手段等に関する意見)の下から二つ目の意見あたりに入れてほしいです。</p>
企画課担当 長	<p>それでは下から二つ目の意見に溶け込ます形で加えたいと思います。</p>
委員長	<p>他にはありませんか。次に別添10ページ「離島航路のあり方について」何か意見はありますか。</p>
石原委員	<p>文章はとてもよくまとまっています。この問題は経過を見ながら対応を当局にお任せしたいと考えています。</p>
三宅委員	<p>「オープン」という言葉が使われていますが、どのような内容をオープンにするのか気になります。</p>
石原委員	<p>離島対策に使われている補助金などを市民がいつでも見ることのできる状態にしておく必要があると考えます。</p>
委員長	<p>よろしいでしょうか。次に別添16ページ「スペース114運営事業について」意見はありますか。三宅委員の意見をこのような形で残したわけですが、いかがでしょうか。</p>
三宅委員	<p>提案ではなく、意見なのでこれでいいと思います。</p>
委員長	<p>同ページ「観光振興についての提案(B級ご当地グルメの祭典)について」は皆さんの意見、アドバイスをもとにこのように文章を訂正しました。よろしいですか。それでは次に別添27ページ「福祉保健推進委員見守り事業について」何か意見はありますか。</p>

石原委員	②の文章では真意が伝わりません。もっと的確な表現はありませんか。
柴田委員	前回の会では活動内容がはっきりしないという意見が多数でていました。内容を市民に伝える前に活動内容を明確にする必要があると思います。
河田委員	福祉関係の団体が多く活動実態の有無もよく分からないため、まずは各団体の整理、見直しが必要という意見もあったと思います。
石原委員	私も廃止したらどうかと意見しました。
委員長	②に関しては活動内容がはっきりしないといった内容をもう少し強い文言で表現しましょう。「十分に浸透していない」以前の問題ですから。
柴田委員	必要性の有無ということになりますね。
三宅委員	(施策を進める手段等に関する意見)で「尚いっそうの充実を望む」とあり、その関連性で廃止というのは反対意見となってしまう施策の意見が生きてきません。実際、高齢化が進み制度の必要性はあるので「委員の職務の見直し」とするべきではないでしょうか。
委員長	抜本の見直しということになりますね。
河田委員	一人暮らしのお年寄りには民生委員が見ています。福祉に関わる委員が多すぎるし、様々な団体の委員を兼務している人もいます。
三宅委員	一本化したらいいですね。
河田委員	そうです。
委員長	そうしましたら②は新たにきつめの文章で記述し、今の②の後半の広く伝えるという内容は③に入れることで事務局に文章を考えていただき、最終的に皆さんに確認いたします。次に別添4 1 ページ施策の(その他)は「丸投げ」という言葉を変えて表現していますがいかがですか。
長尾委員	この文章で結構です。
石原委員	(施策を進める手段等に関する意見)に行政は市民の力を理解し、市民が行動できるように専門的分野で後押しするという内容を入れてほしいです。

委員長	活動の場を設けたり、サポートしたりということですね。いい表現はありますか。それでは文章を練って提出して下さい。
石原委員	それでは皆さん、事務局と協議して文章を入れてもいいですか。
全委員	《了承》
委員長	次に新しく文章を入れたところを確認していきたいと思います。まず別添3ページ施策の（その他）の二つ目ですが、「丸亀市まちをきれいにする条例」はこの場所でいいですか。表現も問題ないですか。 別添2 1 ページ、救急救命士の増員も特にはないですか。 次に別添4 0 ページの事務事業の意見は溝渕さんの意見ですね。よろしいですか。
柴田委員	「実施件数が減っている。」とありますが、前後の文章から少しわかりにくいように思います。事業が減っているということでしょうか。
河田委員	本来は継続することに意義があります。それができていないのです。
委員長	採択された事業で、協働事業終了後も引き続き継続している事業が少ないという内容ですね。4つの文章に分かれているので分かりにくいのかもかもしれません。今の指摘をふまえ、溝渕委員とも相談して文章を修正してください。 別添4 2 ページ、職場環境も特にはないですか。別添4 4 ページは委員会全般に関する意見をまとめられていますが、何かありますか。
河田委員	下から三つ目の意見に同感です。やはり20代、30代の若い人の意見が聞きたかったです。
委員長	この意見にもあるように、若い人が参加しやすいように開催日時を土日や夜にするというのも検討課題でしょうか。
河田委員	先日ミニ議会が行われ、中学生が意見を述べていました。このように委員会や審議会はこれからのまちづくりを協議する場なので若い人の意見は重要です。
委員長	工夫の仕方が難しいのですかね。この委員会は公開なのに傍聴人が一人もこられませんでしたね。
河田委員	どの委員会、審議会も一人もいません。たまに議員さんが一人いるくらいです。

委員長	会議開催や公開についての情報は流していますか。
企画課担当 長	ホームページ等で広報はしています。
委員長	来年に向けて工夫してほしいです。他に何かありますか。
石原委員	報告書(案)の内容で「検討すべき」「必要ではないか」という表現が多く見られます。もう一步踏み込んで、こうしたらどうかという案を入れたらよかったと思いました。
河田委員	同感です。「検討すべき」という表現は「しません」に聞こえます。もう少し具体化できたらよかったと思います。今後の課題です。
委員長	今回はそれぞれの委員の考えの寄せ集め意見としたものです。私たち委員は2年間の任期がありますので、その間個々が様々な問題を考え、提言まで持っていけるようにしましょう。 そういう意味では、上から三つ目の意見ですが、「いくつか見受けられる。」と事実の指摘で文章が切れているので、何か文章を入れたほうが良いと思います。
企画課担当 長	「できるだけ明確に示していただきたい」という感じでいいですか。
委員長	そうですね。他にはありませんか。「その他全般にわたる意見」の上から七つ目の「平成19年度実施完了事業や平成20年度新規事業について外部評価は必要か」という意見に対して事務局、何かありますか。
企画課担当 長	今回は一次評価の対象としたものをそのまま二次評価の対象としました。20年度の一次評価は19年度の実績に基づいて行われますが、19年度に事業が終了しているものや20年度から新たに始まる事業が含まれています。それを外部評価の対象とするかどうかはこれからの検討課題です。
長尾委員	19年度に終わった事業をいまさら評価したり、20年度に始まる事業を比較、評価したりすることに意味があるのか疑問です。
企画課担当 長	例えば、19年度に終了予定としていた事業が完了しなかったり、さらに継続の必要性がでてきたりする場合もあるので、事業の区切りをつけるという意味で評価対象としました。

委員長	そうなると一次評価での必要性の議論にもつながってきます。検討課題にしましょう。他にはありませんか。
三宅委員	別添2 1 ページの下線部「増員は急務である」とありますが、「急務」は役所的な言葉のように思えるので、一般的な表現に変えたほうがよいと思います。
委員長	「増員に努めるべきである。」としますか。
三宅委員	はい、それでいいです。
河田委員	別添4 4 ページ下から二つ目で3から4に大別するという意見がありますが、大別すると細かい議論ができなくなります。むしろ委員が各分野にわたって勉強する必要があるのではないでしょうか。件数は多いですが、関連している部分もあるので分ける必要はないと思います。
委員長	この8人を分けると二人や三人で話し合うことになりますか。
三宅委員	そうならば委員も増やさなければいけませんね。
委員長	色々と慎重に考えるべきこともあるかという気もしますが、これも検討材料の一つですかね。今回は意見としてとらえ、次年度に向けて検討してください。
河田委員	別添1 ページ上から一つ目の意見で、城坤コミュニティとありますが城乾コミュニティではないですか。
企画課担当 長	城乾コミュニティです。訂正します。
委員長	他にありませんか。ないようですので次に「議題2 報告書案について」事務局より説明をお願いします。
企画課担当 長	《「報告書(案)」の構成、主な内容について説明》
委員長	今、事務局から報告書(案)について提案がありましたが、何か意見、質問はありますか。
岡委員	3 ページの判定表ですが、前回6点ずつ分割するという話になったのでC判定と



	D判定の境は7点です。
企画課担当 長	7点に変えます。
委員長	報告書の最初のページですが、私一人の名前が書かれていますが、委員全員の連名にする形もあるように思いますが、どうでしょうか。
全委員	今のままの委員長だけでいいです。
河田委員	先ほど石原委員が言われていましたが、「検討する」という言い回しは何とかありませんか。
委員長	語尾が弱すぎるものは変えたほうがいいですね。
河田委員	行政用語やカタカナは好きではありません。
三宅委員	先ほど議論した「オープン」も「開示」に変えますか。
河田委員	「オープン」は一般的なので変えなくてもいいです。
委員長	本日も別添のところでかなり意見がでましたが、誤字脱字を含めた細かい訂正から最後の修正まで、今後の予定はどうなっていますか。
企画課担当 長	報告書(案)を修正し、最終の形となる「報告書」を今月中に委員の皆様へ郵送いたします。その報告書の最終点検を9月5日(金)までをお願いします。 そして報告書が仕上がりましたら、市長への報告書提出ということになりますが、提出につきましては委員長と副委員長にお願いしたいと考えています。いかがでしょうか。
全委員	《了承》
委員長	報告書を市長に直接手渡せる機会をいただくようですので、提出の際、市長に強く言いたいことがあれば伝えますが、何かありますか。
石原委員	受け取るだけではだめです。8名の委員が貴重な時間をさいて審議したことを強く言ってください。そして順次、課題を検討してほしい旨を伝えてください。
委員長	わかりました。他にはよろしいですか。次に「議題3 その他」ですが事務局よ

	<p>り何かありますか。</p>
<p>企画課担当 長</p>	<p>「第4回行政評価委員会会議録」についてですが、内容についてはよろしいでしょうか。</p>
<p>全委員</p>	<p>《了承》</p>
<p>企画課担当 長</p>	<p>また本日の会議録につきましては、後日「報告書」と併せて郵送したいと思います。内容について何かありましたら9月5日（金）までにご連絡いただきたいと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>最後に、つたない進行でしたが、委員の皆様ご協力ありがとうございました。市長に報告書を提出する際には、皆様の思いを強く述べたいと思います。</p> <p>私たち委員は2年という任期を与えられていますので、次に備え学識経験者はしっかり学識を深め、また、市内にお住まいの委員におかれましては現場の状態や実情などについてさらに詳しく把握しておいていただきたいと思います。大変お忙しい中、ご苦勞様でした。</p>